



小平市立上宿小学校

CSだより

学校経営協議会だより 令和4年度 No.1

令和4年 4月 7日

会長 羽根田 厚子

校長 内 藤 章



令和4年度を迎えました。4月6日、上宿小では始業式と入学式が行われました。見事な桜が、子どもたちの進級や入学を応援しているようでした。

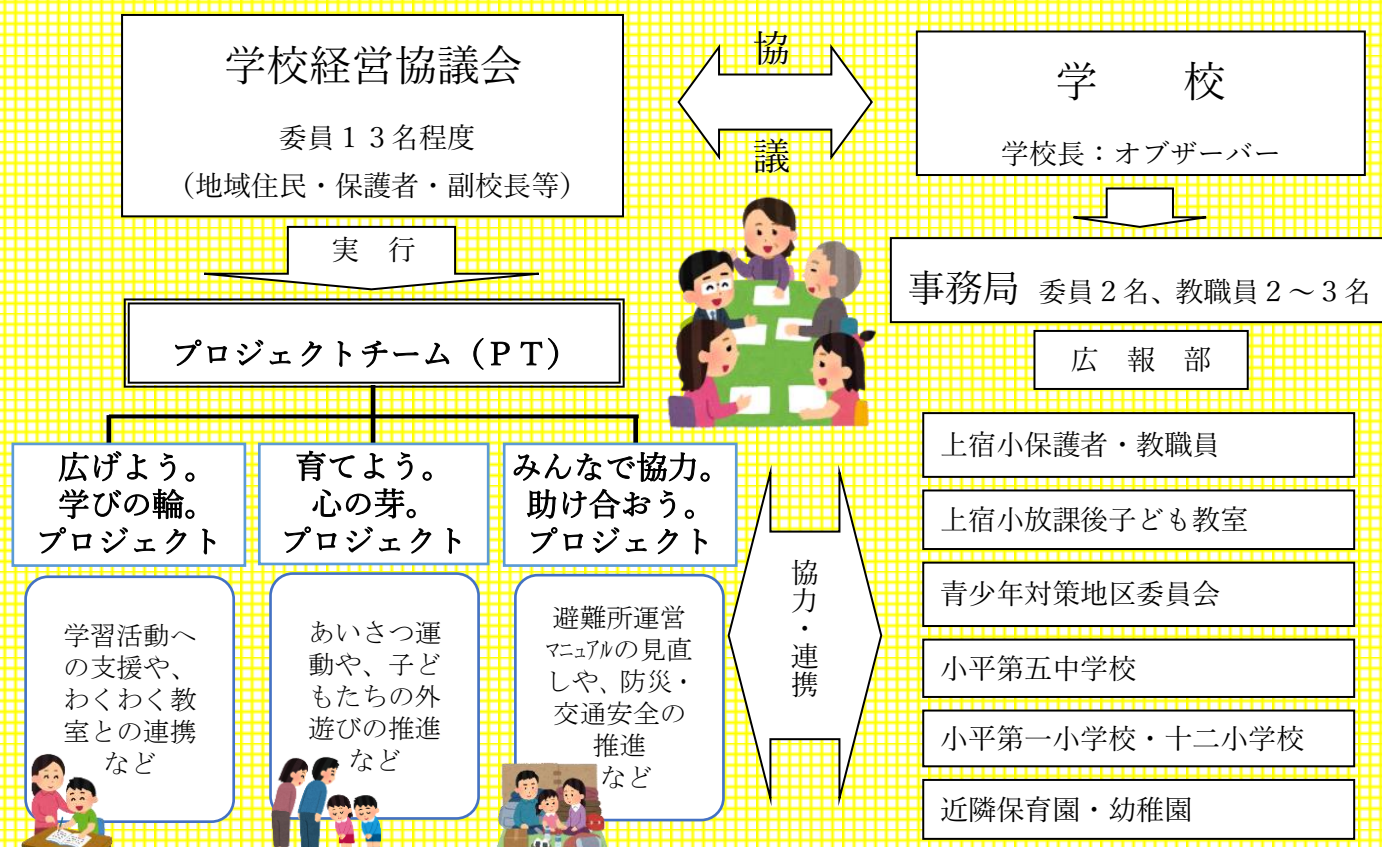
さて、昨年度、令和4年2月28日(月)に、第6回小平市立上宿小学校 東京都型学校運営協議会を行いました。その中で話し合われたことについてお知らせいたします。



いよいよCS(学校経営協議会)が開設されます

今年度より上宿小でCSを開設することが、市から正式に認可されました。学校が地域とビジョンを共有して子どもたちをはぐくむ「地域とともにある学校」を目指して活動してまいります。令和4年度は、協議会委員を13人に増やし、年間10回の協議会を行う予定です。

上宿小 CS イメージ図



「教育課程」を確認しました

第6回協議会では、令和4年度の教育課程について確認を行いました。教育課程とは、教育目標の達成のために、指導要領や学校経営方針に合わせて作成される教育計画です。毎年前年度末に作成され、小平市教育委員会に提出されています。

前回の協議会で意見が出された「児童のたくましさを伸ばす」という点についても加味した計画であることを確認しました。



5年生 総合「プロから学ぶ」

昨年度の2月22日（火）に、5年生は「プロから学ぶ」という学習を行いました。総合的な学習の時間の「やります！お仕事体験！」という単元の一環です。体験を通して「仕事をする」とはどんなことなのか考えていく学習です。例年は地域の店舗などに協力を依頼して、お仕事を実際に体験させていただいていましたが、ここ2年間はコロナ禍のため実施できていませんでした。

そこで今年度は、担任の先生の発案で、近隣にお住いの「その道のプロ」の方々を学校に招いて、学校で子どもたちに体験をさせる活動を企画しました。地域教育コーディネーターが声をかけ、「介護士」「舞台女優」「ネイリスト」「大工」「ペットサロン」「電気技師」「福祉士」の7人のプロの方々が上宿小の子どもたちのため集まってくださいました。子どもたちは目を輝かせながら体験し、プロのお手並みも見せていただきながら、仕事の奥深さを実感していました。ご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございました。



上宿小 HP



子どもたちの様子は
こちらより

上宿小HP <https://www.kodaira.ed.jp/20kodaira/>

CS 子育てリレーコラム



第3回：上宿小学校長 内藤 章

「子どもの気持ち、分かろうとしていますか」

気が付けば教員になってから36年も経っています。初めて担任をした子はもう46歳になることに驚きます。担任として、子どもたちと一緒に過ごすことはとても楽しく、失敗も多々ありましたが、前を向いて夢中になって取り組んできました。

教員として多くの子どもたちに関わっていたのですが、自分の子どものことを本当に見ていたのだろうか、これまでに何度も反省してきました。

当時、中学生になった娘が音楽祭のピアノ伴奏を担当することになっていました。ある時、なかなか歌ってくれない人がいるということを聞きました。「その人たちに声をかけているんだけど・・・」と家で妻と話していました。私は「あんまりやらなくていいんじゃないの」と言ってしまいました。娘は悲しそうな顔をして「何にもわかってないのに！」と声を上げました。音楽祭に向けて、「クラスの友達が歌いやすいようにピアノを弾こう」と伴奏の練習をたくさんし、悩んでいた娘の心を理解せずに発した言葉でした。

音楽祭で娘のクラスの合唱を聴きました。素敵な歌声が響いていました。それを引き出していたのはピアノの伴奏でした。ただの伴奏ではなく、心のこもった、クラスの友達と一体となった伴奏でした。

私はいつも近くにいたはずの娘の気持ちを分かっています。分かろうとしていなかったのかもしれませんが。相手の気持ちを考えることの大切さをクラスの子どもたちに伝えたいと考えていたはずなのに・・・。娘から人としての大事なことを教えてもらいました。

